



クラブのご紹介

どんなクラブ?

当クラブは1970年の日本国際万国博覧会で我国最初の特別記念局 JA3XPO を開設運用に尽力したアマチュア無線家を中心になって1987年に発足しました。メンバーはそれぞれの専門、特技を活かして国際交流、国際親善、国際協力などを行っています。

何をしているの? (1)

クラブ本部のある大阪国際交流センターに設置運用している R-BBS デジピーターはアジア・オセアニア地区の拠点として有効に活用され、今日も元気で世界の方々に利用されています。

何をしているの? (2)

外国から関西を訪れるアマチュア無線家をアシストしたりクラブの月例会に招いたりすることもしばしばあります。またメンバーを中心としたグループで外国を訪問し種々のイベントに参加したり海外運用をしています。

何をしているの? (3)

ボランティア活動もしています。昨年は大阪国際交流センター開館並びにクラブ発足15周年の節目に戦後アマチュア無線再開50周年記念行事を開催しましたところ北は北海道から南は沖縄までの多くのアマチュア無線家のみならず多数の一般市民の来場がありました。

そのときのパネルを当会場内で展示中

何をしているの? (4)



昨年秋に当クラブメンバーが加わった IH9P は CQ WW コンテストで世界トップの座を占めました。

そのお話は当会場 DX フォーラムで

何をしているの? (5)

当クラブメンバーが1989年にベトナムに革命後最初のベトナム人民のアマチュア局建設援助をして以来長年に亘ってサポートを続けた結果、昨年の秋正式にベトナムアマチュア無線クラブ(我国のJARLに該当)が発足、その式典に招待されました。そして今年 IARU の加入が認められました。

CQ 誌に関連記事あります。

何をしているの? (6)

総務省総合通信局から委嘱されたボランティア団体、大阪府電波適正推進員協議会が主催するファミリー電波教室の後援もしています。

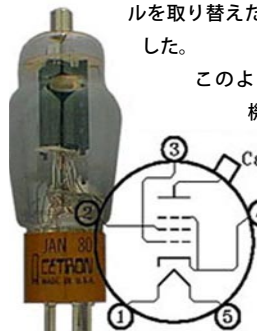


当会場「ファミリー電波教室」へどうぞ

807 という真空管を使った送信機

アマチュア無線再開後間もない昭和28年(1953)から昭和38年頃までの間、日本のハムの大半が使っていた送信機の標準的なもので回路構成も使われている真空管も同じ様なものですが夫々工夫を凝らし世界に一つだけしか無い自分だけの送信機を使って未知の世界へ電波を放射したものでした。

この送信機は当時普通のラジオ用部品とあり合わせの部品を集めて作ったものですが錆付いたネジや不良になった部品を交換し、凹んだパネルを取り替えたりして再生しました。



このような簡単な送信機と鯉のぼりの竹竿に針金を張ったアンテナで無線通信を楽しんだものです。



430MHz FM で
8N3DNP と QSO して
QSL を GET しよう!

本アマチュア局は大阪府電波適正利用推進員協議会がファミリー電波教室に参加する子供達やその保護者、小中学校の先生方にアマチュア無線や電波全般に関することを周知啓発すると共に理解を深めてもらうための諸行事の際に運用することを目的に開設したものです。

この関西アマチュア無線フェスティバルの会場では昭和30年代に使われていた代表的な送信機を修理再現して免許を受けたものを展示しています。一方430MHz帯のFMで運用していますのでQSOしていただくと、ここでQSLを発行します。

運用周波数: 432.400 ~ 433.980MHz

I-house Radio Club members

JA3AA, JA3IG, JA3UB, JA3AER, JA3AOP, JA3DAU, JA3DYU, JA3FGN, JA3HRV, JA3NHL, JA3PYC, JA3TXZ, JA3TYF, JA3USA, JH3AHQ, JH3GAH, JH3GRE, JH3PYE, JR3IXB, JR3MVF, JE3XGD, JE3XSE, JK3IYB, JO3LZG, JP3AZA, JS3GWA, JR5JRK, BV7FA

Web: <http://ja3.net/ihouse>

Newsletter

http://www.ja3.net/ji3zag_nl
会報を自由にダウンロードすることができます

ロールコール

毎週土曜日 9:00JST @14.160MHz

月例会

大阪国際交流センター
毎月第2金曜日